

# 第 18 期 pES club シナリオ 2

平成 31 年 2 月 3 日  
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 薬剤部  
五十嵐 俊  
東京北医療センター 総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院に所属する、2 年目の薬剤師レジデントです。現在研修の一環で関連医療施設の米多穴ブレインセンターに勤務しています。

須戸朗久さん（49 歳男性）は脳梗塞疑いで救急搬送されました。センターで研修を始めてから頭蓋内出血の症例しか経験できていなかったあなたは、初めての脳梗塞症例に気合いが入っています。

診療録を確認すると画像検査では脳梗塞の所見は認められず、一過性脳虚血発作（TIA）と診断され、速やかにアスピリンとクロピドグレルによる経口抗血小板薬 2 剤併用療法が開始されていました。

週末に退院を控え、須戸さんから「この薬はいつまで飲み続けなければいけないの？」と聞かれました。脳卒中治療ガイドライン 2015 には、TIA の急性期の再発予防に 2 剤併用療法は推奨されていますが、急性期以降では出血性合併症のリスクが高いと記載されています。主治医の洲天渡龍二先生に確認をすると、「このまま 2 剤併用で退院後も継続です」との回答でした。

診療ガイドラインの記載と異なる回答に疑問を持ったあなたは、須戸さんの今後の治療にアスピリンとクロピドグレルの 2 剤併用が必要なのか調べてみることにしました。